

事務事業評価シート

(H.28)No.	1406	(H.27)No.	1406
-----------	------	-----------	------

事務事業名	魅力ある学校づくり調査研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462514
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	魅力ある学校づくり調査研究事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	魅力ある学校づくり調査研究事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
不登校やいじめ等の未然防止を推進するため、児童生徒の豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの生きる力を育成する「魅力ある学校づくり」について調査研究事業を実施し、一人ひとりの子どもが大切にされ、いじめのない学校づくりの取組の成果を、市内はもとより他地域にも発信します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童生徒を対象とした授業づくりや集団づくりを進めることにより、不登校やいじめ等の未然防止につながる魅力ある学校づくりを実施します。 特に不登校については、未然防止に加え初期対応に視点を当てます。 市内全小中学校で推進し、中学校内の各小中学校が連携して取り組みます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒意識調査(4回) 連絡協議会(2回) ブロック協議会(1回) 小・中連絡協議会(4回) 調査研究委員会(3回) 校区小・中連携校長会議(5回) 中学校区合同研修会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒意識調査(4回) 調査研究委員会(4回) 小・中連絡協議会(随時) 調査研究委員会(3回) 校区小・中連携校長会議(随時) 各中学校区合同研修会(1回) 指導主事による学校訪問及び助言、指導 			

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	895千円	800千円			
内訳(千円)					
国・県支出金	895	800			
地方債					
その他()					
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.07人	0.10人			
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 532千円	760千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 1,427千円	1,560千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
不登校やいじめ等の未然防止を推進するため、本委託事業を受託し、北中学校区内の小中及び小中連携を通じた取組を推進しました。不登校生については、北中校区では4人減少し、市内全小中学校では、昨年度より7名減少しました。	今後も市内全小中学校で、授業づくりや集団づくりを進めることにより、不登校やいじめ等の未然防止につながる魅力ある学校づくりを推進するとともに、校区内の各小中・小中間で連携をして取り組む必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	子どもたちが「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康や体力」を身につけることができるよう、安全で快適な教育環境を整備するための事業であり、基本方針達成への貢献は大きいものと考えられます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
平成27年度の北中学校区小中学校での取組の成果等が認められ、平成28年度は、市内全小中学校において推進をしていくことが決まり、文部科学省国立教育政策研究所事業を継続して委託を受けることが決定したため。	第二次名張市子ども教育ビジョン 名張市いじめ防止基本方針